

常に改善、前進、進化し続ける

マークテック
代表取締役社長

西本 圭吾



新年明けましておめでとうございます。

米中対立の長期化や中東・ウクライナ情勢の不透明さに加え、高市新政権の国家戦略やサプライチェーン再編、デジタル・脱炭素の政策推進が足元で鮮明になっていきます。

こうした国内外の制度変化や規制強化は、中小企業にとって事業環境を一層不確実にし、迅速なリスク評価と資源配分の見直し、技術投資や取引先の多元化を通じた戦略的柔軟性の確保を強く求

めています。

ります。

ゆえに、当社グループでは、『品質保証を科学する（＝再現可能な）モノづくり集団』として、経営共通基盤（Marktec Business System）を最大限に活用しながらお客様からの信用と信頼を得るために、常に改善、前進、進化し続けてまいります。

最近のトピックとしては、2022年に開始した化学製品のOEM・ODMなどの受託生産事業が事業の柱の一つとして着実に伸長してきたことから、新たに経営資源を投入しつつ、ブレーキ用摩擦材を手掛ける子会社・東北化工と連携のうえ、更なる強化に取り組んでおります。

また、70年を有する過去から蓄積されてきた暗黙知である非破壊検査技術・ノウハウの形式知化（DXによるデータベール）を推進しながら、生成AIを効果的に活用し、生産性を現状の2倍超に向上させるべく取り組んでまい

また、昨年4月に粉体物性評価装置を手掛けるナノシーズが子会社となったことで、これまで以上に、粉体物性分析に関わる様々なビジネスに注力しております。引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

産報出版株式会社 発行

検査機器ニュース 第1555号（2026年1月5日）